得るので、これ以上の段要と期待されることは少第2段階と第3段階の決差は、文書で確実な表現交渉を合意させることがかどうか。実に知的なレ高さが必要になるという際会議などの表面を見て分からないが、水面下で表現をめぐってのやり取われている。ては英語に堪能な社員を屋」などと言って軽視し、使うのがせいぜいの使いったかもしれないが、語語」力が決定的に重要なは、企業のトップ自身が磨いて参加しなければいのが近状である。（三）

▷システム開発工事事務所、ジェイアール東日本建築設計事務所
▷施工者＝大林組・大成建設・鉄建ＪＶ（建築工事）、日本電設工業・九電工・日本リーテックＪＶ（電気設備工事）
▷運営＝ジェイアール東日本ビルディング（オフィス）、ルミネ（商業施設・文化交流施設）
▷構造・規模＝Ｓ一部ＳＲＣ造地下２階地上33階建て延べ約11万1,000平方㍍
▷建設地＝東京都渋谷区千駄ヶ谷５丁目ほか

には太陽光発電装置を設置
域冷暖房システムも導入す
緑化や緑あふれる回廊など
ＣＡＳＢＥＥ（建築環境総
価システム）のＳランクを
た。防災面ではオイルダン
制振構造のほか、72時間
な非常用発電機や屋上ヘリ
備える。

外壁のカーテンウオール取り付けも順調に進む

つ」（牧野課長）。外壁
性能の高いＬｏｗ－Ｅ複
用いたダブルスキン構造
空調負荷を抑制。ＬＥＤ
オード）照明に加え、南

タワークレーンは「AZUSA№1、2」と命名

いま マンホールが面白い!?

マンホールサミット2015

多面的な活用・魅力語り合う

全国津々浦々にある下水道のマンホール。昨今は地域色豊かなデザインマンホールも散見され、各地を訪ね歩く「マンホール女子」が話題を集めている。そうしたマニアが集うイベントも定期的に開催されており、会場には熱気が渦巻く。7日に東京都内で開かれた「マンホールサミット2015」も予定を上回る参加者が詰めかけ大いに盛り上がった。

「マンホール蓋はどこまで進化する?」と題した座談トークに参加した"地図偏愛系マンホール女子"の山市香世さんは、「平成の大合併で多くの市や町の名前が変わったり、なくなったりした。それがマンホール蓋には刻まれて残っている」と記録媒体としての価値に言及。さらに「路面の至る所にあり、勝手に動かせない位置情報として存在する。日々生活する空間の中で、路上から情報を収集・発信する機能があれば面白い」と提言した。

日本全国に敷設されたマンホール蓋は1400万個。下水道管渠の延長は地球11周分にあたる45万㌔で単純計算では[illegible]カ所、マンホール蓋があ[illegible]は「音と光の出るマンホール[illegible]案。親子で楽しめたり、ス[illegible]ォンなどの端末アプリやAR[illegible]RED）によって道案内や観[illegible]ような仕掛けがあ[illegible]んだ。

これには[illegible]た国土交通省[illegible]村下水道対策官も[illegible]や清掃には位置[illegible]重要であり、位[illegible]ことが大事だと[illegible]賛同。

自らも[illegible]ホールから"マイ[illegible]スター[illegible]び出して、これ[illegible]機能を付加する[illegible]ルを楽しむ人た[illegible]ＡＲ情報もマンホールと相性がいい。観光情報やショッピング情報などがマンホールから提供されれば、さらにまち歩きが楽しくなるのではないか」とマンホールの多面的な活用に思いをめぐらせていた。

座談トークでアイデアを披露する山市さん（中央）

会場にはユニークなマンホールグッズも数多く展示され、マニアの熱い視線が注がれた

平成27年3月24日
建設通信新聞

マンガで担い手対策

『工事監督物語 技能編』

素人が現場工事監督へ

震災被災地の地域建設業に就職した高原良太が、現場の代理人や職方番頭に厳しく指導されながら、工事監督を目指すマンガ物語。

高原は、27歳という年齢で現場に入り、重機や足場の危険性からＫＹ（危険予知）活動、測量の基本などを学んでいく。

教科書などない現場の施工管理を、自分に問いかけ、納得しながら、一歩ずつ進んでいく姿が描かれている。進歩はゆっくりだが、物語中盤ではベテランも気づかなかった異常も指摘する。

現場の監督者は、下請けや外注の立場を理解しなくては立ちゆかない、という実務的な基本にまで踏み込み、汗臭く現場を紹介している本書は一読の価値がある。今回は『技能編』として完結しているが、次作は『施工管理編』に続くそうだ。

現在、国も総力を挙げて取り組んでいる「担い手の確保・育成に向けた新しいタイプの指南書」として紹介したい。

（清文社・1000円、税別）

ＣＩＣ日本建設情報センターが解説する

施工管理技士の② 受験対策

敵を知り己を知れば百戦危うからず

試験傾向を知ることが、合格するための第一歩。今回は施工管理技士試験の傾向を分析していく。国家試験である１級施工管理技士試験は、どの科目についても一次試験といえる学科試験（四肢択一のマークシート方式）と、二次試験の実地試験（記述式）があり、両方に合格することで施工管理技士に合格となる。

１級施工管理技士試験の学習方法として、学科試験の対策時も実地試験を意識することで相乗的な学習効果があるといわれることも少なくない。しかし、四肢択一と記述では問題形式自体が異なり、同様の試験対策で短期的な学習効果を得るのは難しい。

当然のことながら、学科試験に合格しなければ実地試験を受験することさえできない。学科試験の合格率は横ばいを保っているが、出題内容は難化しており決して容易な試験ではないと認識すべきである。そこで学科試験の出題傾向について解説する。

１級土木施工管理技士試験学科試験
出題数と各出題比率　2014年度例

出題区分	出題数	解答数（A）	解答数に対する比率(A/B)
土木一般	15問	12問	18.5%
専門土木	34問	10問	15.4%
法規	12問	8問	12.3%
共通工学	4問	4問	6.1%
施工管理法	31問	31問	47.7%
計	出題96問	解答65問（B）	100.0%

※学科試験は出題区分により解答数が異なる。

学科試験の合格基準は正解率60%でほぼ一定。目標は、あくまで「資格取得」であり、かつ短期合格を目指すのであれば満点を目指すのは避けなければならない。勉強に使える時間には限度があり、施工管理技士試験の範囲は広く全範囲を網羅しようとすると内容をほとんど消化できないまま臨むことになりかねない。

学科試験の出題区分には配点が最も高い『施工管理法』という分野がある（表参照）。にもかかわらず、実務において経験のある専門分野に気をとられ、普段あまり馴染みのない「施工管理法」の対策を怠った結果、不合格になるケースが少なくない。

施工管理技士試験は、工事現場を指揮する最高指導者としての資質を問う試験だ。合格後は適正に建設工事を管理し、建設工事における施工技術の技術上の指導・監督職務も行うため必然的に、合否の基準は「施工管理法」に相当な比重が置かれることになる。つまり、短期間で合格を勝ち取るためには施工管理法の攻略が不可欠なのである。

（ＣＩＣ日本建設情報センター　鮎川　洋介）

「施工管理法」の攻略が不可欠